

「第 8 回 日本栄養改善学会 東海支部会学術総会」の開催報告

令和元年 6 月 9 日（日）、第 8 回日本栄養改善学会 東海支部会学術総会は、「新時代・人生 100 年の健康づくりー栄養科学と運動科学の融合ー」をテーマに愛知県産業労働センターウインクあいちにて、盛会のうちに終了致しました。

ご参加をいただきました会員の皆様方をはじめ、ご支援ご協力をいただきました各県栄養士会、展示や抄録掲載にてご尽力を賜りました企業・団体等の皆様に御礼を申し上げます。お陰様で、目標を超える 167 名のご参加をいただきました。心より御礼申し上げます。

<当日の内容>

一般演題：午前 16 題（研究報告 13 題、実践報告 3 題）

午後 20 題（研究報告 12 題、実践報告 8 題）

会長講演：「新時代・人生 100 年の健康づくりー栄養科学と運動科学の融合ー」

特別講演：「糖尿病の克服：運動・栄養面からのアプローチ」

お昼のセミナー：「管理栄養士教育における OSCE（オスキー）導入の意義」

市民公開講座：「長寿と栄養、気になりませんか？」

① 「100 歳まで元気に生きるためには、栄養が大切」

② 「地域とつながる栄養ケア・ステーション」

一般演題では、食品・医療・保健・教育・介護など多方面からの学際的な研究に対し熱心な質疑応答が行われ、特別講演・お昼のセミナー・市民公開講座では、いずれもレベルが高く満足度の高い講演であったと講師の皆様にご感謝申し上げます。

また、終了後の懇親会におきましても、特別講演講師ら 3 名のご参加をいただき、今後の管理栄養士の活動・教育、東海支部会への期待など引き続き楽しい議論に花が咲き、次年度へバトンをお渡し致しました。学術総会に関わっていただきました皆様に心より御礼を申し上げますとともに、皆様の更なるご研究ご活躍を心より祈念申し上げます。

各会場の様子



第 8 回大会長 愛知学院大学 教授 森 圭子